



農家料理 青木農園 住所:多摩市和田1709 Tel.090-2206-9517  
営業日時:木~日曜日 12時~17時(要予約)



ということです。「楽しく食べること、料理をつくる人が健康な家は、家族も健康だということ、食事は健康にとって大切だ」という基本的なことを重ねて伝えていきたい」と考えているのです。

### ●原動力とこれから

青木農園へ実際に訪問し、取材や料理を通じて感じたことは、青木さんのバイタリティーの豊かさです。農業経験のなかった青木さんが、農家に嫁ぎ、農業に関する様々な課題に直面し、それらをどうすれば乗り越えられるか、解決できるのかを、常に主体的に考えて、小さなヒントから得た解決策などがあれば、すぐに実行している点などからは、強いエネルギーと行動力を感じ、同じ農業者としても大いに感心させられ、見習わなければいけないと思いました。とりわけ、農家レストランという考え方には、真似のできないストーリー性を感じさせられました。

さらに、農家レストラン・大人の食育を実現するために、多くのつながり・サポートがあることを見逃すことはできません。レストラン運営の共同パートナーである小林さん、パートのみなさん、農作業での援農ボランティア、農業に関する多くのネットワーク、そして家族である夫や息子さんたちの協力なくして農家レストランの実現はなかったことでしょう。

最後に、大人の食育の次のステップとして、青木さんは、コミュニティ農業を目指しています。これは顧客のみならず、青木農園で農作物を育て、収穫し、レストランで食べるという一連の流れの中から、野菜の知識を学んでいくというもので、実現に向けて、これからの活躍ぶりが楽しみです。



### ▲手書きの看板でお出迎え

創意工夫にあふれ、今後も期待がふくらむ農家レストラン『農家料理・青木農園』へ、ぜひ足をお運びください。

(農業委員 新倉 隆)

今回取材にお伺いしたのは、和田にある農家レストラン『農家料理・青木農園(経営者・青木幸子さん)』です。

### ●昔懐かしい空間

10年前にマンションの一室で農家レストランを始め、いったん休業した後、令和2年5月から、自宅の母屋を改装した現在の場所で営業しています。改装された家の中は、レストランのほか、様々なイベントに対応できるようになっており、見渡すと、その間取りや構造が懐かしく、柱の位置や神棚などが、私が育った子供の頃の家に似ている感じがしたのと同時に、母屋に養蚕を育てる場所の名残があったことから、多摩地域の主要な農業であった養蚕を思い出しました。

### ●農家レストランを始めた理由

青木さんに、農家レストランを始めた理由を伺うと、「大人の食育をしたい」という答えが返ってきました。その願いは次の3つの事柄に集約されています。



▲改装された店内

第一に、「野菜の本当の味を堪能してほしい。スーパーで売っている野菜

は、収穫後時間の経過でどんどん味が変わってしまうことや、野菜は、土壌の違いや育て方によって味が異なることを知ってほしい。何より、本当の野菜の美味しさを味わって欲しい」という強い思いがあるのです。

第二に、食事に時間をかけ、会話やコミュニケーションを大切にしてほしいという思いです。丹精込めて作った食材や料理を、ただ胃袋に収めることが



▲ワンプレートで提供される料理

食事ではありません。じっくりと味わい、食事の時間や食事でのコミュニケーションを大切にしてほしいと思っています。レストランでの料理は、1つのプレートに10種類以上のおかずを盛り付けて提供されます。食材は旬のものを使うのはもちろんですが、調理法や味等に関心を持っていただけるように、あえてお客さんが疑問を持つような盛り付け・配膳がなされています。食べるながら、自然と会話が弾むような仕掛けを施すことで、食べる者同士のみならず、料理や調理した料理人とのコミュニケーションも図れるような機会を増やしていきたいという思いが感じられました。

第三には、健康に気を配ってほしい